GH05425Z

施工説明書

2011.8

TOTO

足元収納コンパクトタイプ（埋込あり）

UGA431R
UGA431L

製品の機能が十分に発揮されるように、この施工説明書の内容にそって正しく取り付けてください。
取付後は、お客様にご使用方法を十分にご説明ください。

安全上のご注意

お取り付け前にこの「安全上のご注意」をよくお読みの上、正しく取り付けてください。
ここに示した注意事項は、安全に関する重要な内容となりますので、必ずお守りください。
●表示と意味はつぎのようになっています。

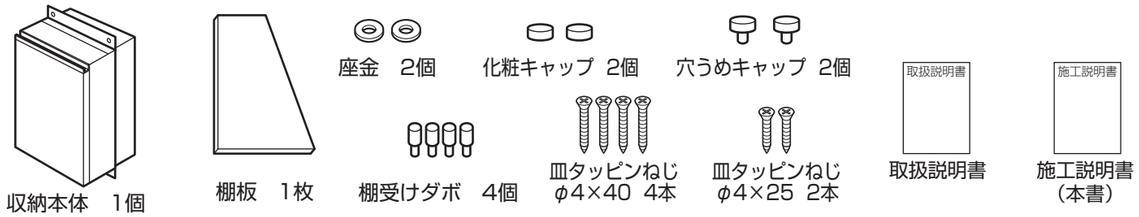
⚠警告	誤った取り扱いをすると、「死亡又は重傷を負う可能性が想定される」内容です。
⚠注意	誤った取り扱いをすると、「人が傷害を負う可能性および物的損害の発生が想定される」内容です。

●お守りいただく内容を絵表示で区分し、説明しています。

🛇	してはいけない「禁止」の内容です。
❗	必ず実行していただく「強制」の内容です。

⚠警告	水場使用禁止	**浴室など水がかかったり湿気の多い場所には設置しない** 商品本体・ねじ類の腐食により、落下してけがやときに死亡の原因となります。	禁止	**屋外および傾斜のあるような壁面、振動の激しい場所には取り付けない** 取り付けが不安定になり、落下してけがやときに死亡の原因となります。
	禁止	**器具取り付け用のねじ固定部の壁裏には、配管・配線をしない** 火災や感電の原因となります。 水漏れして家財などをぬらす財産損害発生の原因となります。	必ず守る	**壁固定ねじ取付位置には、必ず壁裏に補強材を入れる** 取付物の転倒・落下によりけがやときに死亡の原因となります。
	必ず守る	**取付面がタイル・コンクリート壁の場合は、コンクリート用プラグ（現場手配）を使用する** 取り付けが不安定になり、落下によりけがやときに死亡の原因となります。		**商品を取り付ける柱・間柱は、腐食などで強度不足でないことを確認する** 取付物の転倒・落下によりけがやときに死亡の原因となります。
		工事完了後、商品の傾きやがたつきがないか確認する 商品が落下したり、外れたりしてけがやときに死亡の原因となります。		**機器の設置は専門業者が行う** 火災や感電の原因となります。水漏れして、家財などをぬらす財産損害発生の原因となります。 商品の破損や落下によりけがをするおそれがあります。
⚠注意	禁止	**商品に力や強い衝撃を与えない** 商品の破損や落下によりけがをするおそれがあります。		
	必ず守る	**商品の壁への固定が完了するまで、もたれたりものを載せたりしないよう十分注意する** 商品が倒れたり落下してけがの原因となります。		**商品の取り付け・加工は、本説明書に記載された方法・注意事項を厳守する** 商品が破損・落下し、けがのおそれがあります。
		設置工事に使用する部材は必ず付属部品および指定部品を使用する 取り付けが不安定になり、使用中に落下してけがの原因となります。		**ねじ部の固定については、本説明書に記載された方法・注意事項を遵守する** 商品が破損し、けがをする原因となります。
		推奨位置以外に設置する場合は、安全性を十分に確認する 取り付けが不安定になり、使用中に落下してけがの原因となります。		**水準器を用いて水平に設置する** 収納物が落下してけがの原因となります。
				工事完了後、商品の傾きやがたつきがないか確認する 使用中に落下して、けがの原因となります。

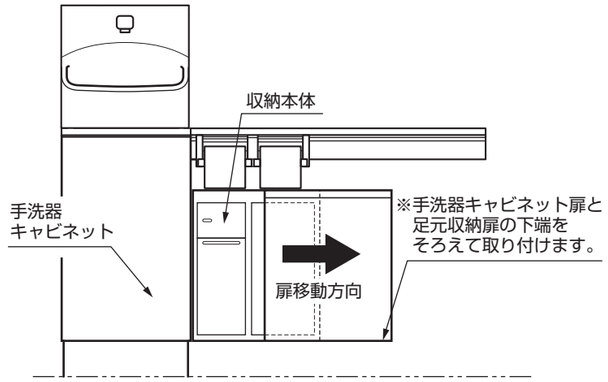
部品の確認



取り付け前のご注意

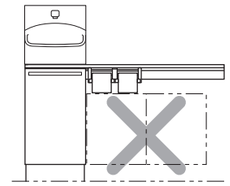
【左右勝手の確認】

● 下図のように手洗器の横に商品を取り付ける場合、足元収納の扉は手洗器キャビネットとは、逆側に開くことを確認してください。
（足元収納が逆勝手の場合はその反対になります）



注意

扉を開く際扉同士が緩衝しますので足元収納は2台以上連立しないでください。



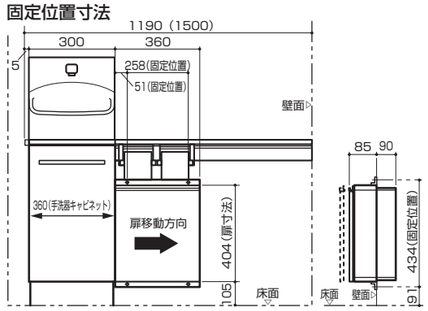
取り付け前の準備（壁裏開口及び補強）

◆タイル、コンクリート壁の場合は現物に合わせて下穴をあけ、コンクリート用プラグ（現場手配）を使用してください。
◆工事寸法位置に12㎜以上の合板（JAS規格相当品）を入れておいてください。（建築工事）

取付方法（図はすべて左勝手に取り付ける場合で表示しています。）

スリムCとセットで取り付けの場合

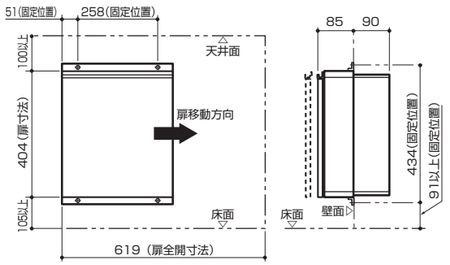
固定位置寸法



① 本体を開口部にはめ込み手洗器キャビネット扉と本体扉の下端をそろえる。
② チャームボックスをはずし、手洗器キャビネットと本体を付属のねじと座金で2ヶ所連結させる。この時壁とのすき間ができないように注意する。
③ 本体の上下を付属のねじで固定する。
④ 連結部分のねじに化粧キャップをする。
⑤ 棚受けダボを収納部下穴に取り付け、棚板を設置する。
- 埋込代は90㎜です。
- 上図は足元収納Rタイプの場合となります。
- 足元収納Lタイプの場合は左右対称となります。

単体で取り付ける場合

固定位置寸法



① 本体を開口部にはめ込む。
② 本体の上下を付属のねじで固定する。
③ チャームボックスをはずし、手洗器キャビネットと本体を連結させるための穴を穴うめキャップでふさぐ。
④ 棚受けダボを収納部下穴に取り付け、棚板を設置する。
- 埋込代は90㎜です。
- 上図は足元収納Rタイプとなります。
足元収納Lタイプの場合は左右対称となります。
- 扉全開寸法は619㎜（上図）です。
設置する際は必ず扉が全開することを確認してください。

壁開口位置について

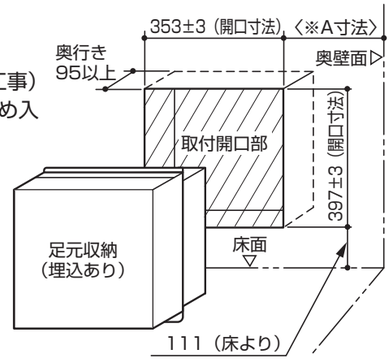
壁開口が必要となります。

- あらかじめ、足元収納取付用の開口を壁に開けておいてください。（建築工事）
  また、ねじ固定用の厚さ12㎜以上の合板（JAS規格相当品）をあらかじめ入れておいてください。

※A寸法（奥壁から開口端部までの寸法）

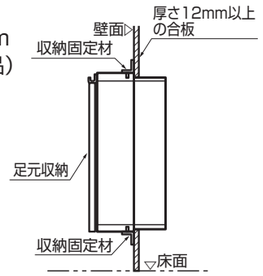
スリムCへの取り付け
・1190㎜のカウンターと取り付ける場合は、528.5㎜となります。
・1500㎜のカウンターと取り付ける場合は、
　カウンターを切断していない時は、838.5㎜となります。
　カウンターを切断した時は、838.5㎜から切断した長さ分を引いた寸法となります。

単体で取り付けの場合は、奥壁より290㎜以上離してください。

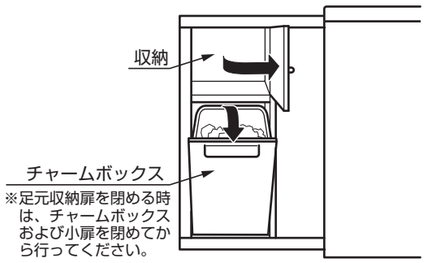


補強について

- 壁固定ねじ位置に厚さ12mm以上の合板（JAS規格相当品）を入れてください。



ダストボックス使用法

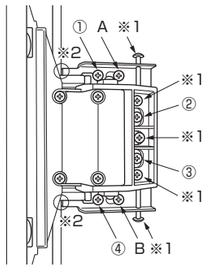


※足元収納扉を閉める時は、チャームボックスおよび小扉を閉めてから行ってください。

スライド扉の傾き調整方法

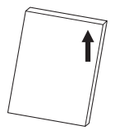
足元収納設置後にスライド扉の傾きがある場合、以下の手順に従って調整を行ってください。

左勝手の場合（扉が左に開くタイプ）



〈注意〉
◆※1のネジは絶対に動かさないでください。
◆扉の調整時にスライド機構部が傾くことがあります。傾いた場合は、キャビネットの木口とスライド機構部板金の端部（※2）が面一となるように合わせて固定しなおしてください。

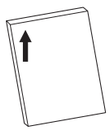
■扉の右側を上げる場合



1. ②③④のネジをゆるめる。
2. Bのネジを締める。
   （傾きの調整）
3. ②③④のネジを最後まで強く締める。
   （強く締めないと扉と本体にすき間があく可能性があります。）

※ 右側を上げすぎた場合、手順2でBのネジを反対にゆるめてください。

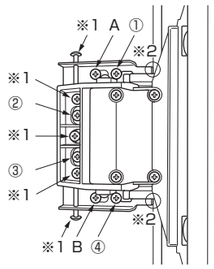
■扉の左側を上げる場合



1. ①②③のネジをゆるめる。
2. Aのネジを締める。
   （傾きの調整）
3. ①②③のネジを最後まで強く締める。
   （強く締めないと扉と本体にすき間があく可能性があります。）

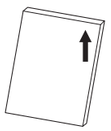
※ 左側を上げすぎた場合、手順2でAのネジを反対にゆるめてください。

右勝手の場合（扉が右に開くタイプ）



〈注意〉
◆※1のネジは絶対に動かさないでください。
◆扉の調整時にスライド機構部が傾くことがあります。傾いた場合は、キャビネットの木口とスライド機構部板金の端部（※2）が面一となるように合わせて固定しなおしてください。

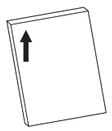
■扉の右側を上げる場合



1. ①②③のネジをゆるめる。
2. Aのネジを締める。
   （傾きの調整）
3. ①②③のネジを最後まで強く締める。
   （強く締めないと扉と本体にすき間があく可能性があります。）

※ 右側を上げすぎた場合、手順2でAのネジを反対にゆるめてください。

■扉の左側を上げる場合



1. ②③④のネジをゆるめる。
2. Bのネジを締める。
   （傾きの調整）
3. ②③④のネジを最後まで強く締める。
   （強く締めないと扉と本体にすき間があく可能性があります。）

※ 左側を上げすぎた場合、手順2でBのネジを反対にゆるめてください。